

平成22年度事業報告書

(第19期)

自 平成22年4月 1日

至 平成23年3月31日

(設立許可 平成3年12月20日)

財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団

枚方市招提田近1丁目9番地

平成 22 年度実施事業の概要

本年度は、平成 22 年 3 月 25 日の理事会・評議員会合同会議において決定された事業計画書に従い、次の通り実施した。

I. 助成事業（配分総額 0 円、予算総額 0 万円）

II. 財団自主事業（総額約 1137 万円、予算 1482 万円）

1) 粉体工学に関する講演討論会の開催（総額約 266 万円、予算 350 万円）

「ナノパーティクルハンドリング技術が産み出す新技術」をテーマとした第 44 回粉体工学に関する講演討論会を平成 22 年 9 月 6 日（月）に東京ガーデンパレスで開催した。講演件数は 6 件、参加者数は 134 名（内訳：企業 95 名、大学・研究機関 28 名、ホソカワミクロン関係者 11 名）で盛会裏に終了した。参加者の 75 名（56%）から得られたアンケート結果によると、多くの参加者から興味深い内容であったとの評価をいただいたが、工業的実用例やナノリスクと安全性の講演の希望もあった。さらに、ナノ以外のテーマとして新エネルギーや太陽電池、二次電池や医薬、ナノ粒子カプセル DDS の要望があった。なお、本講演討論会の企画は、粉体技術談話会（会長 増田弘昭 京都大学名誉教授）に委託している。

2) 国際学術誌「KONA」の発行（総額約 385 万円、予算 650 万円）

KONA 誌 No.28(2010)を平成 22 年 12 月 25 日に発行した。本誌は、アジア、アメリカ、ヨーロッパの 3 ブロックの編集委員会で編集し、粉体工学に関する優れた研究論文、レビューを世界から集めて毎年発行し、粉体工学関係研究者、研究機関、図書館等に無償で配布している。尚、アジアブロックの編集は粉体技術談話会に委託している。

No.28 は発行部数 600、総ページ数 242(No.27 は 248 ページ)、掲載論文数 16 編(アジアブロック 5 編、アメリカブロック 5 編、ヨーロッパブロック 6 編)である。掲載記事の内訳は Review paper 10 編、Original paper 8 編、Information article 2 編である。KONA 誌はインターネットで公開されているが、冊子体も作成しており、冊子体は、アメリカへ 50 部及びヨーロッパのブロックへ 150 部、アジアへ 53 部、国内へは約 206 部送付した。

3) 年報の発行（総額約 84 万円、予算 80 万円）

年報は当財団の活動状況と財団の助成を受けた研究の成果を公表するために発行される。年度末の 3 月末までの実績を報告するため、ある年度の年報は次年度の 5 月頃に発行される。平成 20 年度の年報が平成 22 年 5 月に発行された。